



# 農家民泊の受け入れが 始まりました

大田原市を中心とする定住自立圏構想グリーンツーリズム推進事業として、7月21日(金)〜23日(日)東京都江戸川区立二之江中学校の2年生220名が林間合宿で、大田原市、那珂川町、那須町を訪れました。

町内では今回初めて、3軒の農家が農家民泊の受け入れを行い、じやがいも掘りや収穫した野菜の袋詰め、ハウスの張替補助などの農作業をはじめ、虫取りや川遊び、地元のお祭りへの参加など、8名の生徒がそれぞれの家庭や地域ならではの農村生活を体験しました。都会で生活する子どもたちは、お米や野菜のおいしさに感動し、夜の暗さや虫の豊富さに戸惑い、農業の大変さだけでなく喜びや自然の大切さに触れることができ、かけがえのないひと夏の経験になったようです。

初めて農家民泊を受け入れた農家も「親戚の子ども達が来たようで、思っていたよりも大変ではなかった」、「ご飯がおいしいと何杯もおかわりをしてくれるので、作り甲斐があった」、「集落内の子どもたちが少なくなってきた中、「元気をもらえた」、「これからも農業を頑張ろうという気持ちになった」などの感想がありがたかった。次回の受け入れを心待ちにしている様子でした。



## 農家民泊 受入農家 大募集

農家民泊とは、主に首都圏や海外からの学生3〜4名を自宅に受け入れ、農業などの体験や受入家庭との団らんを通して農村地域での生活を体験してもらうものです。

町内で農家民泊の受け入れをするためには、保健所から特別簡易宿所の許可を受けた後、(株)大田原ツーリズムに農家民泊の登録を行い、受入時期を希望することで実施が可能となります。

「子どもが好き」、「地域を活性化させたい」、「人と人のつながりを大切にしたい」と思っている方、農家民泊に興味のある方、ぜひ那須町農業公社にご相談ください。

### 農家民泊Q&A

- Q1 申請手続きは面倒ではありませんか？
- A1 県や消防署、保健所等への申請は那須町農業公社が代行します。
- Q2 農家民泊はボランティアですか？
- A2 体験や宿泊には対価が発生するため、受け入れた人数分だけ収入を得ることができます。
- Q3 家が古いのですが改築をしなければなりませんか？
- A3 空いている部屋で受け入れが可能です。ありのままの農村生活が何よりの体験です。
- Q4 農家でなくても農家民泊の登録は可能ですか？
- A4 他の農家の協力で農業体験が実施できれば、農家民泊の登録は可能です。
- Q5 その他のようなメリットがありますか？
- A5 都会の子どもたちとのふれあいを通して、農村生活の素晴らしさを再発見できるだけでなく、その土地のファンづくりにつながるため、地域の活性化につながります。

▼問合せ 那須町農業公社

☎73 5545



### 園芸用パイプハウス整備費用を助成します

水稲から園芸作物への作付転換や園芸作物の作付拡大を図るため、園芸用パイプハウスの整備を予定されている農家の方へ購入費用の一部を助成します。

- ▼対象者 アスパラ、うど、花きなどの園芸作物の生産に必要な60㎡(約18坪)以上のパイプハウスを整備する農家
- ▼交付金額 園芸用パイプハウス整備費用の1/3(上限50万円)
- ▼問合せ 農林振興課農政係 ☎72 6911

### 全国共進会 選出 おめでとうございます

上川地区の太平博和さん、長南寺地区の大森政宏さんが飼育する黒毛和牛が、9月7日から11日に宮城県で開催される全国和牛能力共進会に栃木県代表として選出されました。

全国和牛能力共進会は5年に一度開催される和牛の全国大会です。県内の模範となる飼養技術で育てられた自慢の愛牛、コンディションを整えて大会に臨んでください。

